



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8835 URL <https://www.taiheiyo.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 好紀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 光幸 TEL 03-5830-1602
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,372	113.2	425	586.6	441	—	322	—
2022年3月期第1四半期	5,803	△0.8	61	—	28	—	12	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 349百万円 (935.7%) 2022年3月期第1四半期 33百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	41.41	—
2022年3月期第1四半期	1.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	46,170	15,225	32.0	1,898.65
2022年3月期	44,646	15,140	32.9	1,887.11

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,770百万円 2022年3月期 14,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	33.00	33.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	20,000	47.2	350	20.2	150	△9.6	100	△3.1	12.85
通期	45,300	37.9	800	26.7	600	53.5	400	9.0	51.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	7,783,448株	2022年3月期	7,783,448株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	4,167株	2022年3月期	4,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	7,779,281株	2022年3月期1Q	7,779,287株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ情勢等の影響によるエネルギーや原材料価格の高騰、さらに急激な円安進行や中国国内における都市封鎖の影響等、引き続き景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、商事セグメントの輸入炭の販売価格が上昇したこと等により、売上高123億72百万円（前年同期比113.2%増）となり、営業利益4億25百万円（同586.6%増）、経常利益4億41百万円（前年同期は28百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億22百万円（前年同期は12百万円の純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①不動産セグメント

マンション改修工事の受注増等により、売上高は6億79百万円（前年同期比3.4%増）となり、営業利益は1億90百万円（同2.3%増）となりました。

②商事セグメント

輸入炭の販売価格が上昇したこと等により、売上高は95億5百万円（同226.6%増）となり、営業利益は3億81百万円（前年同期は15百万円の営業利益）となりました。

③サービスセグメント

有料老人ホームの稼働率低下等により、売上高は12億32百万円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は67百万円（同5.6%減）となりました。

④建設工事セグメント

建設工事の受注が増加したことにより、売上高は3億99百万円（同30.0%増）となったものの、18百万円の営業損失（前年同期は28百万円の営業損失）となりました。

⑤肥料セグメント

農業用肥料等の販売数量が減少したことにより、売上高は5億53百万円（前年同期比15.9%減）となり、営業利益は15百万円（同41.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は461億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億24百万円増加しました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が16億63百万円減少したものの、現金及び預金が19億64百万円、商品及び製品が14億14百万円増加したこと等によるものであります。

負債は309億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億38百万円増加しました。この主な要因は支払手形及び買掛金が2億24百万円、短期借入金が6億18百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は152億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加しました。この主な要因は利益剰余金が65百万円増加したこと等によるもので、この結果、自己資本比率は32.0%（前連結会計年度は32.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、現時点で2022年5月11日に公表した計画から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,723	7,687
受取手形、売掛金及び契約資産	4,268	2,605
未成工事支出金	12	78
商品及び製品	5,171	6,585
原材料及び貯蔵品	154	175
その他	1,134	981
貸倒引当金	△9	△5
流動資産合計	16,457	18,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,325	9,237
土地	13,967	13,960
その他(純額)	1,019	992
有形固定資産合計	24,312	24,190
無形固定資産		
その他	78	75
無形固定資産合計	78	75
投資その他の資産		
投資有価証券	917	951
長期貸付金	2	2
差入保証金	2,068	2,068
その他	817	782
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	3,798	3,796
固定資産合計	28,189	28,062
資産合計	44,646	46,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,268	3,493
短期借入金	9,003	9,622
未払法人税等	54	20
賞与引当金	224	343
その他	2,371	2,800
流動負債合計	14,922	16,280
固定負債		
社債	1,971	1,901
長期借入金	5,744	5,826
受入保証金	3,440	3,563
債務保証損失引当金	1,131	1,131
退職給付に係る負債	650	605
資産除去債務	110	110
その他	1,534	1,524
固定負債合計	14,583	14,664
負債合計	29,505	30,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,244	4,244
資本剰余金	3,380	3,379
利益剰余金	5,816	5,881
自己株式	△4	△4
株主資本合計	13,437	13,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	443
土地再評価差額金	832	832
退職給付に係る調整累計額	△7	△7
その他の包括利益累計額合計	1,243	1,268
非支配株主持分	460	455
純資産合計	15,140	15,225
負債純資産合計	44,646	46,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	5,803	12,372
売上原価	4,986	11,109
売上総利益	817	1,262
販売費及び一般管理費	755	837
営業利益	61	425
営業外収益		
受取配当金	11	46
事業分量配当金	18	30
その他	24	32
営業外収益合計	53	109
営業外費用		
支払利息	66	67
その他	20	24
営業外費用合計	87	92
経常利益	28	441
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	29	440
法人税等	11	115
四半期純利益	17	325
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	12	322

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	17	325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	23
退職給付に係る調整額	△0	0
その他の包括利益合計	16	23
四半期包括利益	33	349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29	346
非支配株主に係る四半期包括利益	4	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	260	2,910	1,265	307	658	5,402	—	5,402
その他の収益	397	0	3	—	—	401	—	401
外部顧客への売上高	657	2,910	1,269	307	658	5,803	—	5,803
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	83	37	4	0	148	△148	—
計	680	2,994	1,307	311	658	5,952	△148	5,803
セグメント利益又は 損失(△)	185	15	71	△28	26	271	△210	61

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△210百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△212百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	276	9,505	1,226	399	553	11,962	—	11,962
その他の収益	403	0	5	—	—	409	—	409
外部顧客への売上高	679	9,505	1,232	399	553	12,372	—	12,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	85	31	28	1	170	△170	—
計	703	9,591	1,264	428	554	12,542	△170	12,372
セグメント利益又は 損失(△)	190	381	67	△18	15	637	△211	425

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△211百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△214百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。